

【22_049/技術系メルマガ】(続)『いつも同じリズム』でトレードをする方法

〇〇さん

こんにちは！クログキです。

昨日、『トレードのリズム』を整えることの重要性を長々と説明してしまいましたが(笑)

「じゃあ具体的にどーすればいいの？」という話までやりきれなかったので

今日のメルマガはその続きです(まとも悪くてゴメンナサイ 笑)

前回の内容を簡単にまとめると、『トレードのリズム』を自分の『型』に沿って整える事で

値動きを追いまわすような、ストレスフルなトレードをから脱却でき

トレードが非常に 楽 になる、という話をしました。

トレードにおいて一番シンドイ状態というのは、自分にとってのチャンスがいつ来るか

まったく分からない状態で、漫然とチャートを見ていることだからです。

待ち構えるべき形の輪郭がハッキリ見えていれば

「今見ている必要は無いな」とか「そろそろチャンスが近いかもな」と

自分の中でしっかりチャートを見るべき局面が見えてきて、より効率的にチャート監視、トレードが可能になります。

では、前置きはこの辺にしておいて、それを具体的にどうやるのか？という話をしていきます。

┌
└─┬─
■ まずは『型のイメージ』を作り、そこから検証母数を集める

トレードにおける、『自分のリズム』を構築するため

今からでもできることを、僕なりの視点で提案したいと思います。

まずは、長期の環境がどうのこうのとか 難しい理屈は全部抜きにしてもいいので

『自分にとって綺麗だと思える値動きのパターンイメージ』を探し出し

その同じパターンを過去チャートからたくさん集める検証をしてみてください。

▼(参考)僕の今やっているセットアップイメージ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1485137492634447874?s=20&t=CTRE2khxCEVzPZQJQxTiiw>

もう少し説明すると、この図のセットアップイメージは、M5～M15足で確認をします。

ですので、このセットアップが整いそうなチャートを見つけると、僕はそこから

H1足、H4足、日足、週足・・・と

段々上の時間足におうかがいを立てて、セットアップの方向に向かってトレードするのに支障がないか

(主に、邪魔なMAや水平線が近くに無いか?)を確認するという手順で分析をしていきます。

過去チャートを検証する際にも、この手順でやると分析すべきチャートが分かりやすいと思います。

このツイートは、僕の現在の固定ツイート(2022年現在)ですが

目線を決めたら、ひたすらこのセットアップを待って繰り返しトレードをしています。

勝ったり負けたりを当然繰り返しますが

リスクコントロールもルールに織り込まれているので、それさえ逸脱しなければ

ただこのセットアップを待ってトレードするだけで、『トータルの収益はプラスになる』

という(膨大な検証母数で裏付けた)型に対する信頼を持っています。

だから僕は、必死に全部のチャンスを拾おうともしないし(まあ、やろうと思ってもできないんですが 笑)

いつも自分のリズムと、型と、相場の流れが揃ったときにだけ、トレードをする。

これを徹底しているから、今は非常に楽にトレードをしながら
こうして日々の文章書きや他の仕事、家事にも集中できています。

これを毎日読んでくれている皆さんにも、早くこの段階を実感するところまで
来てもらえるように、引き続き考え方のヒントを投げ続けて行きますので
毎度長くて申し訳ないですが、引き続きお付き合いくださいね(笑)